

活性化センター の 様々な取り組み

愛媛大学大学院生インターンシップの受入れ

愛媛大学大学院農学研究科の中に、森林管理高度技術者をを目指す学生が学んでいる森林環境管理特別コースがあります。森林管理や林業ビジネスで活躍する人材を育成するためのコースです。

その大学院生2名の2か月に渡るインターンシップ(職場体験や現地研修)を、活性化センターと久万市場、久万事業所で受け入れました。森林管理や施業集約化などの活性化プロジェクトの実務、原木流通や木材製品の加工流通など、幅広く体験していただき、実務的な研修を積んでいただきました。

長期に渡る研修で組合職員ともすっかり打ち解けて、和やかな雰囲気の中でのびのびと実地研修を進めていただき、「貴重な体験をさせて頂き感謝するとともに、自分の将来にとっても役立つと思います。」と嬉しい感想を頂きました。



将来の目標のひとし

岩屋寺裏山

丈夫で簡易な道づくり研修会

愛媛県では、今まで間伐作業のための林内作業路は仮設路網として扱われてきましたが、今後は、より丈夫で長持ちする道づくりを目指す取り組みが始まりました。

そこで、9月19日から3日間、愛媛県林業政策課(本庁)が主催する林内作業道開設工事の実務に関する研修会「丈夫で簡易な道づくり研修会」に活性化センターの職員4名が参加しました。

道づくりの基礎から現地での実務研修まで、講師を招いて詳しく指導していただきました。



2日目の9月20日には、大川地区の団地内で、事業体の協力を得て現地研修が行われました。

実際に開設工事を進めながら、施工のポイントや注意点、路線設定の方法など、きめ細かく指導していただきました。

研修後は、今回学んだことを他の職員へ伝え、今後の団地施業に生かして、より良い路網整備を進めて参ります。



四国山の日賞 受賞

「四国山の日in高知」が10月13日に高知県で開催されました。

四国山の日は、四国各県民の共有財産として四国の森づくりを推進するために開催されており、四国の森づくりの取り組みを積極的に推進している団体等を「四国山の日賞」として表彰しています。

今回、「森林整備の推進」部門で久万林業活性化プロジェクトの取り組みが「四国山の日賞」をいただきました。集約化施業による間伐の低コスト化、地元の雇用機会拡大や地域経済の活性化、愛媛大学からのインターンシップ受け入れなどによる人材育成などが高く評価されました。

